

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 T&Dホールディングス  
 コード番号 8795 URL <http://www.td-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 宮戸 直輝  
 (氏名) 坂井 啓三

TEL 03-3434-9151

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	1,697,977	△13.0	71,039	—	25,054	—
21年3月期第3四半期	1,952,146	—	△132,022	—	△47,508	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	90.37	—
21年3月期第3四半期	△192.95	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	12,732,970	577,364	4.5	1,689.99
21年3月期	12,498,562	296,393	2.4	1,076.35

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 575,544百万円 21年3月期 294,656百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	45.00	45.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,010,000	△20.9	78,000	—	18,000	—	65.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	340,740,000株	21年3月期	273,930,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	178,910株	21年3月期	175,434株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	277,259,366株	21年3月期第3四半期	246,220,968株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。連結業績予想についての詳細は7頁の「4. 連結業績予想に関する定性的情報」に記載しておりますのでご参照願います。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険料等収入 1 兆 3,564 億円（前年同期比 7.9%増）、資産運用収益 2,869 億円（同 10.4%減）、その他経常収益 545 億円（同 85.5%減）等を合計した結果、前第 3 四半期に比べ 2,541 億円減少し、1 兆 6,979 億円（同 13.0%減）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金 1 兆 2,547 億円（同 10.0%減）、責任準備金等繰入額 657 億円（同一%）、資産運用費用 884 億円（同 81.0%減）、事業費 1,583 億円（同 1.3%減）、その他経常費用 597 億円（同 5.8%減）等を合計した結果、前第 3 四半期に比べ 4,572 億円減少し、1 兆 6,269 億円（同 21.9%減）となりました。

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、前第 3 四半期に比べ 2,030 億円増加し、710 億円（前第 3 四半期は 1,320 億円の経常損失）となりました。経常利益が増加したのは主に、有価証券売却損および有価証券評価損が減少したことによります。

特別利益は 5 億円（同 99.4%減）、特別損失は 123 億円（同 654.5%増）となりました。特別損失は主に、価格変動準備金繰入額 114 億円（前第 3 四半期は特別利益として価格変動準備金戻入額を 955 億円計上）であります。

経常利益に特別利益、特別損失、契約者配当準備金繰入額、法人税等合計等を加減した四半期純利益は、前第 3 四半期に比べ 725 億円増加し、250 億円（前第 3 四半期は 475 億円の純損失）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 3 四半期末の総資産は 12 兆 7,329 億円（前連結会計年度末比 1.9%増）となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券 8 兆 9,540 億円（同 9.0%増）、貸付金 2 兆 1,904 億円（同 4.0%減）、買入金銭債権 3,507 億円（同 20.9%減）、有形固定資産 3,050 億円（同 1.1%減）、現金及び預貯金 2,643 億円（同 17.3%減）であります。

負債合計は 12 兆 1,556 億円（同 0.4%減）となりました。その大部分を占める保険契約準備金は 11 兆 7,496 億円（同 0.4%増）となっております。

純資産合計は平成 21 年 12 月 16 日および 12 月 28 日付にて総額 1,189 億円の増資を実施したことにより、5,773 億円（同 94.8%増）となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は 630 億円（前連結会計年度末は△862 億円）となっております。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは主に、保険料等収入が増加するとともに保険金等支払金が減少したことにより、前第 3 四半期の 2,343 億円の支出から、1,076 億円の収入（3,419 億円の収入増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは主に、有価証券の売却・償還による収入が減少したことにより、前第 3 四半期の 4,382 億円の収入から、5,235 億円の支出（9,618 億円の支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは主に、借入金の返済による支出が増加した一方で、社債の発行による収入および株式の発行による収入が増加したことにより、前第 3 四半期の 218 億円の支出から、408

億円の収入（626億円の収入増）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、期首から3,756億円減少し、9,445億円となりました。

### 3. 生命保険会社3社（単体）に関する事項

#### (1) 経営成績に関する定性的情報

##### ■太陽生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入5,398億円（前年同期比17.2%増）、資産運用収益1,283億円（同23.0%減）、その他経常収益550億円（同76.0%減）を合計した結果、前第3四半期に比べ1,328億円減少し、7,232億円（同15.5%減）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金5,578億円（同10.7%減）、資産運用費用309億円（同82.3%減）、事業費616億円（同3.9%増）等を合計した結果、前第3四半期に比べ2,115億円減少し、6,842億円（同23.6%減）となりました。

この結果、経常利益は、前第3四半期に比べ787億円増加し、389億円（前第3四半期は397億円の経常損失）となりました。経常利益が増加したのは主に、有価証券売却損および有価証券評価損が減少したことによります。

特別利益は3億円（同99.4%減）、特別損失は106億円（同一%）となりました。特別損失は主に、価格変動準備金繰入額100億円（前第3四半期は特別利益として価格変動準備金戻入額を618億円計上）であります。

四半期純利益は、前第3四半期に比べ131億円増加し、141億円（同一%）となりました。

なお、基礎利益（生命保険本業の期間収益を示す指標の一つ）は、逆ざや133億円（同41.8%減）を埋め合わせたうえで、340億円（同23.9%増）となりました。

##### ■大同生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入5,878億円（前年同期比4.0%減）、資産運用収益865億円（同34.6%減）、その他経常収益1,350億円（同26.8%減）を合計した結果、前第3四半期に比べ1,199億円減少し、8,095億円（同12.9%減）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金6,425億円（同8.7%減）、資産運用費用344億円（同83.2%減）、事業費817億円（同6.2%減）等を合計した結果、前第3四半期に比べ2,367億円減少し、7,710億円（同23.5%減）となりました。

この結果、経常利益は、前第3四半期に比べ1,168億円増加し、384億円（前第3四半期は783億円の経常損失）となりました。経常利益が増加したのは主に、有価証券売却損、売買目的有価証券運用損等の資産運用費用が減少したことによります。

特別利益は0億円（前年同期比99.9%減）、特別損失は15億円（同74.3%増）となりました。特別損失は主に、価格変動準備金繰入額14億円（前年同期は特別利益として価格変動準備金戻入額を336億円計上）であります。

四半期純利益は、前第3四半期に比べ539億円増加し、158億円（前第3四半期は380億円の純損失）となりました。

なお、基礎利益は、逆ざや326億円（前年同期比48.1%減）を埋め合わせたうえで、431億円（同353.2%

増)となりました。

#### ■T & Dフィナンシャル生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入 2,285 億円(前年同期比 24.5%増)、資産運用収益 737 億円(同 155.8%増)、その他経常収益 65 億円(同 22.7%減)を合計した結果、前第3四半期に比べ 879 億円増加し、3,088 億円(同 39.8%増)となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金 542 億円(同 18.7%減)、責任準備金等繰入額 2,240 億円(同 248.9%増)、資産運用費用 220 億円(同 76.0%減)、事業費 129 億円(同 6.8%増)等を合計した結果、前第3四半期に比べ 784 億円増加し、3,152 億円(同 33.1%増)となりました。

この結果、経常損失は、前第3四半期に比べ 95 億円改善し、64 億円(同 59.8%減)となりました。

四半期純損失は、前第3四半期に比べ 68 億円改善し、44 億円(同 60.2%減)となりました。

なお、基礎利益は 190 億円(前第3四半期は 326 億円の損失)となりました。また、逆ざやは 26 億円(前年同期比 2.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ■太陽生命保険株式会社

当第3四半期末の総資産は 5 兆 7,799 億円(前事業年度末比 0.2%増)となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券 3 兆 7,461 億円(同 1.9%増)、貸付金 1 兆 4,296 億円(同 4.3%減)、有形固定資産 1,616 億円(同 0.5%減)、買入金銭債権 1,454 億円(同 0.1%増)であります。

負債の部合計は 5 兆 5,925 億円(同 0.6%減)となりました。その大部分を占める保険契約準備金は 5 兆 4,426 億円(同 0.6%減)となっております。

純資産の部合計は 1,874 億円(同 28.6%増)となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は 344 億円(同-)となっております。

保険会社の健全性を示す行政監督上の指標のうち、ソルベンシー・マージン比率は 1,016.6%(前事業年度末は 866.4%)となりました。また、実質純資産(時価ベースの実質的な資産から資本性のない実質的な負債を差引いた額)は 4,113 億円(前事業年度末は 3,304 億円)となりました。

#### ■大同生命保険株式会社

当第3四半期末の総資産は 5 兆 4,545 億円(前事業年度末比 0.3%減)となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券 3 兆 9,503 億円(同 12.2%増)、貸付金 7,732 億円(同 3.5%減)、買入金銭債権 2,052 億円(同 31.1%減)、有形固定資産 1,390 億円(同 1.2%減)、コールローン 1,113 億円(同 59.5%減)であります。

負債の部合計は 5 兆 1,440 億円(同 2.7%減)となりました。その大部分を占める保険契約準備金は 4 兆 9,693 億円(同 2.7%減)となっております。

純資産の部合計は 3,104 億円(同 67.0%増)となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は 289 億円(前事業年度末は△860 億円)となっております。

ソルベンシー・マージン比率は 1,068.7%(前事業年度末は 820.7%)となりました。また、実質純資産は 5,819 億円(前事業年度末は 4,462 億円)となりました。

■T & Dフィナンシャル生命保険株式会社

当第3四半期末の総資産は1兆3,908億円(前事業年度末比18.8%増)となりました。

主な資産構成は、有価証券1兆2,595億円(同23.0%増)、金銭の信託505億円(同21.8%減)であります。

負債の部合計は1兆3,477億円(同19.9%増)となりました。その大部分を占める保険契約準備金は1兆3,367億円(同20.1%増)となっております。

純資産の部合計は431億円(同8.2%減)となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は△6億円(同50.8%減)となっております。

ソルベンシー・マージン比率は714.4%(前事業年度末は836.8%)となりました。また、実質純資産は942億円(前事業年度末は871億円)となりました。

(参考) 契約業績の状況

■太陽生命保険株式会社

当第3四半期の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高(転換による純増加を含みます)は、2兆536億円(前年同期比24.8%増)となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、8,492億円(同10.6%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、18兆1,154億円(同4.0%増、前事業年度末比4.4%増)となりました。

■大同生命保険株式会社

当第3四半期の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高(転換による純増加を含みます)は、2兆7,721億円(前年同期比9.5%減)となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、3兆630億円(同2.7%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、37兆5,091億円(同4.3%減、前事業年度末比2.9%減)となりました。

■T & Dフィナンシャル生命保険株式会社

当第3四半期の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高(転換は取り扱っておりません)は、2,084億円(前年同期比29.6%増)となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、837億円(同21.3%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、2兆2,350億円(同5.0%増、前事業年度末比5.4%増)となりました。

#### 4. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の四半期純利益は250億円と通期業績予想の180億円を上回っております。  
 これは主に、有価証券売却益275億円(税引前のネット損益)を計上したことによるものです。  
 今後、市場動向によってはキャピタル損益に大きな変動が発生する可能性もあることから、平成21年3月期決算短信(平成21年5月19日公表)で公表いたしました、下記業績予想の修正はいたしません。

(単位：億円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
通 期	20,100 (20.9%減)	780 (－)	180 (－)

(注) 括弧内は、対前期増減率。

(参考) 生命保険会社3社(単体)の通期業績予想

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,100 (18.2%減)	9,700 (22.4%減)	2,700 (5.4%減)
経常利益(△損失)	410 (－)	500 (－)	△140 (47.8%減)
うち基礎利益(△損失)	500 (11.1%増)	550 (－)	△40 (90.2%減)
当期純利益(△損失)	110 (－)	170 (－)	△100 (49.5%減)

(注) 括弧内は、対前期増減率。但し、「△損失」の場合の「減」は損失縮小を表しております。

#### 5. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
 該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
 該当事項はありません。

6. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	264,312	319,643
コールローン	221,700	397,500
買入金銭債権	350,785	443,212
金銭の信託	73,472	78,112
有価証券	8,954,094	8,218,502
貸付金	2,190,460	2,280,772
有形固定資産	305,091	308,604
無形固定資産	22,429	23,444
代理店貸	1,124	1,233
再保険貸	12,073	10,422
その他資産	157,038	191,792
繰延税金資産	184,590	227,992
貸倒引当金	△4,204	△2,671
資産の部合計	12,732,970	12,498,562

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	11,749,630	11,699,006
支払準備金	65,039	71,474
責任準備金	11,545,540	11,480,401
契約者配当準備金	139,050	147,129
代理店借	1,057	604
再保険借	439	450
短期社債	26,994	9,994
社債	14,000	—
その他負債	166,233	306,659
役員賞与引当金	185	160
退職給付引当金	118,041	118,040
役員退職慰労引当金	4,570	4,123
特別法上の準備金	63,899	52,453
価格変動準備金	63,899	52,453
繰延税金負債	11	—
再評価に係る繰延税金負債	10,541	10,674
負債の部合計	12,155,605	12,202,169
<b>純資産の部</b>		
資本金	207,111	147,637
資本剰余金	194,619	135,145
利益剰余金	159,559	146,616
自己株式	△934	△927
株主資本合計	560,356	428,471
その他有価証券評価差額金	63,098	△86,246
繰延ヘッジ損益	206	348
土地再評価差額金	△48,001	△47,805
為替換算調整勘定	△116	△110
評価・換算差額等合計	15,187	△133,814
少数株主持分	1,820	1,736
純資産の部合計	577,364	296,393
負債及び純資産の部合計	12,732,970	12,498,562

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
経常収益	1,952,146	1,697,977
保険料等収入	1,256,810	1,356,471
資産運用収益	320,371	286,955
利息及び配当金等収入	190,661	163,587
金銭の信託運用益	20,676	—
売買目的有価証券運用益	—	4,176
有価証券売却益	90,521	41,512
金融派生商品収益	16,504	—
その他運用収益	2,007	1,996
特別勘定資産運用益	—	75,682
その他経常収益	374,930	54,537
責任準備金戻入額	311,249	—
その他の経常収益	63,681	54,537
持分法による投資利益	33	13
経常費用	2,084,169	1,626,938
保険金等支払金	1,394,880	1,254,729
保険金	492,866	413,708
年金	147,805	153,312
給付金	220,953	209,383
解約返戻金	335,576	319,694
その他返戻金	197,678	158,630
責任準備金等繰入額	670	65,753
責任準備金繰入額	—	65,138
契約者配当金積立利息繰入額	670	614
資産運用費用	464,848	88,421
支払利息	1,467	2,246
金銭の信託運用損	—	21,811
売買目的有価証券運用損	38,102	—
有価証券売却損	181,391	14,006
有価証券評価損	63,596	9,376
金融派生商品費用	—	14,916
為替差損	3,419	1,967
貸倒引当金繰入額	—	1,560
貸付金償却	112	5,049
賃貸用不動産等減価償却費	4,176	4,041
その他運用費用	69,140	13,444
特別勘定資産運用損	103,441	—
事業費	160,358	158,310
その他経常費用	63,411	59,723
経常利益又は経常損失(△)	△132,022	71,039

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
特別利益	97,721	558
固定資産等処分益	702	343
価格変動準備金戻入額	95,528	—
貸倒引当金戻入額	1,157	—
償却債権取立益	119	40
その他特別利益	213	174
特別損失	1,635	12,341
固定資産等処分損	1,388	549
減損損失	—	184
価格変動準備金繰入額	—	11,445
その他特別損失	246	161
契約者配当準備金繰入額	16,473	20,593
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△52,410	38,662
法人税及び住民税等	1,381	755
法人税等調整額	△6,334	12,712
法人税等合計	△4,953	13,467
少数株主利益	50	139
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,508	25,054

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△52,410	38,662
賃貸用不動産等減価償却費	4,176	4,041
減価償却費	9,351	9,153
減損損失	—	184
のれん償却額	357	—
支払備金の増減額(△は減少)	△8,249	△6,435
責任準備金の増減額(△は減少)	△311,249	65,138
契約者配当準備金積立利息繰入額	670	614
契約者配当準備金繰入額(△は戻入額)	16,473	20,593
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,166	1,534
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△47	24
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,878	0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△142	446
価格変動準備金の増減額(△は減少)	△95,528	11,445
利息及び配当金等収入	△190,661	△163,587
有価証券関係損益(△は益)	296,010	△97,988
支払利息	1,467	2,246
為替差損益(△は益)	3,260	2,058
有形固定資産関係損益(△は益)	△55	△52
持分法による投資損益(△は益)	△33	△13
代理店貸の増減額(△は増加)	160	108
再保険貸の増減額(△は増加)	△1,423	△1,650
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額(△は増加)	△18,969	9,574
代理店借の増減額(△は減少)	536	453
再保険借の増減額(△は減少)	△35	△11
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額(△は減少)	△6,224	1,469
その他	30,269	53,349
小計	△321,583	△48,638
利息及び配当金等の受取額	197,254	161,423
利息の支払額	△1,837	△2,476
契約者配当金の支払額	△36,563	△29,368
その他	△5,105	△1,994
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△66,500	28,704
営業活動によるキャッシュ・フロー	△234,336	107,649

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預貯金の純増減額 (△は増加)	△1,420	170
買入金銭債権の取得による支出	△40,284	△9,096
買入金銭債権の売却・償還による収入	57,822	11,125
金銭の信託の増加による支出	△16,600	△24,100
金銭の信託の減少による収入	94,576	6,950
有価証券の取得による支出	△2,861,338	△2,616,794
有価証券の売却・償還による収入	2,995,135	2,067,239
貸付けによる支出	△402,688	△402,506
貸付金の回収による収入	531,886	490,113
その他	86,715	△41,990
資産運用活動計	443,805	△518,889
<b>営業活動及び資産運用活動計</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,132	△5,361
有形固定資産の売却による収入	1,574	678
投資活動によるキャッシュ・フロー	438,247	△523,571
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期社債の発行による収入	—	16,995
短期社債の償還による支出	△27,971	—
借入れによる収入	47,800	46,600
借入金の返済による支出	△5,644	△143,471
社債の発行による収入	—	14,000
社債の償還による支出	△20,000	—
リース債務の返済による支出	△21	△73
株式の発行による収入	—	118,948
自己株式の取得による支出	△310	△12
自己株式の処分による収入	17	2
配当金の支払額	△15,703	△12,112
少数株主への配当金の支払額	△31	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,866	40,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,957	△573
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	179,087	△375,676
現金及び現金同等物の期首残高	982,596	1,320,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,161,683	944,575

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年12月16日を払込期日とする一般募集による新株式発行を実施し、発行済株式総数が58,100千株、資本金が51,720百万円、資本剰余金が51,720百万円それぞれ増加しております。

また、平成21年12月28日を払込期日とする野村証券株式会社への第三者割当による新株式発行により、発行済株式総数が8,710千株、資本金が7,753百万円、資本剰余金が7,753百万円それぞれ増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は207,111百万円、資本剰余金は194,619百万円となっております。